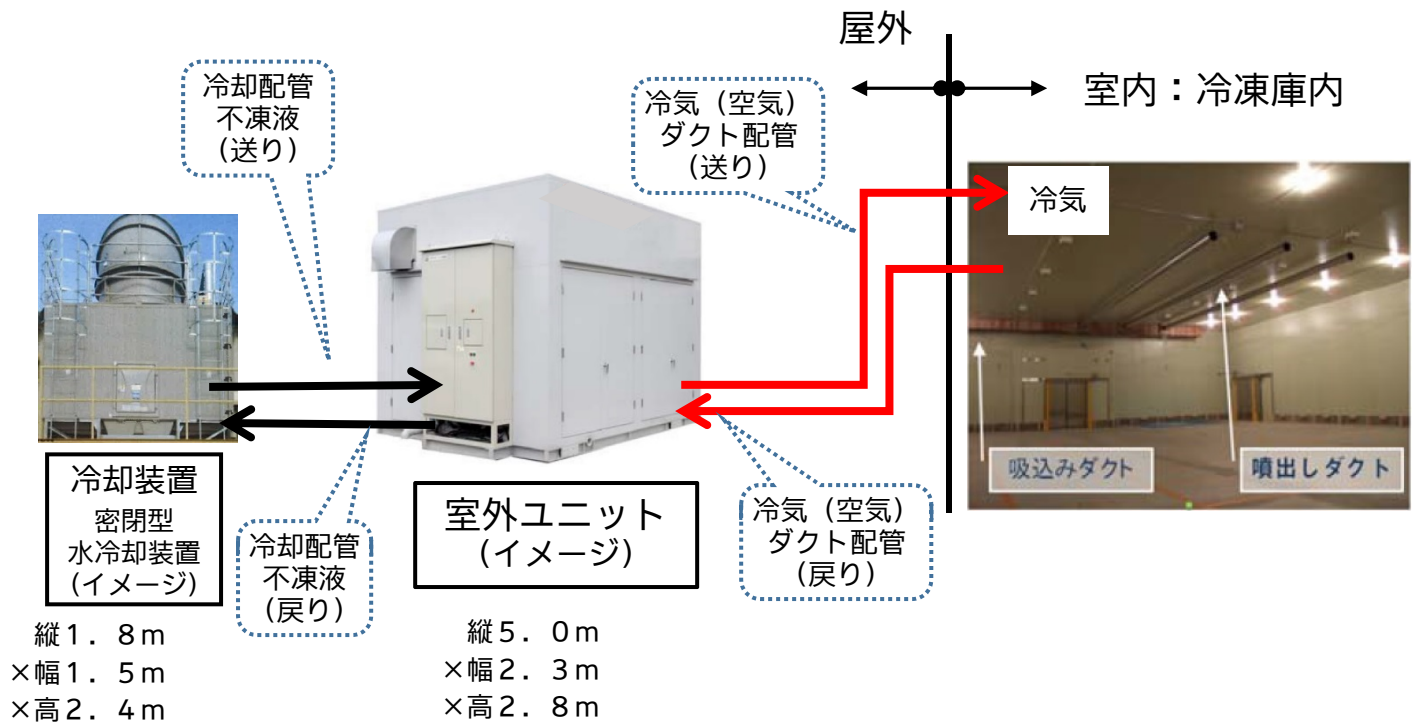


総合地方卸売市場の超低温冷凍設備更新について

1 設備の概要

- (1) 自然冷媒である空気を使用 (フロンガスを使用しないシステム)
※SDGs13 (気候変動に具体的な対策) に対応
- (2) 室外ユニットで超低温の空気を生成し、冷凍庫内へ送風



2 設備の特徴

(1) 環境への負荷ゼロ

	(現行の設備) 特定フロン	(新たな設備) 自然冷媒
冷媒名	R22 (2020年1月1日～生産禁止)	空気
オゾン層破壊係数	0.055	0
地球温暖化係数	1810	0

・オゾン層破壊係数：
特定フロンR11を1とした場合のオゾン層に与える破壊効果の強さを表す値

・地球温暖化係数：
二酸化炭素(CO2)を1とした場合の温暖化影響の強さを表す値

※出典 環境省「フロン排出抑制法の概要」

(2) 効率性と安定性に優れる

冷凍庫内に室内機(エアクーラー)を必要としないため、室内機のファン動力分の熱負荷がなくなることにより、冷凍庫内の温度を一定に保つことが出来る。また、室内機ファンの動力削減が得られ、システム全体での省エネ効果が期待できる。

(3) 電力消費量の削減

24時間稼働の現行システムから、効率性と安定性のある冷凍庫内温度が低下した場合のみ稼働するシステムに変更するため、電力消費量が削減可能(Δ10~20%程度)